

横浜市感染症発生動向調査報告（令和4年6月）

《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症が増加しています。
- 梅毒や性器クラミジア感染症など、性感染症が高い水準で続いています。梅毒では、妊婦の報告もみられます。
- 感染性胃腸炎が高い水準で続いています。

◇ 全数把握の対象

＜6月期に報告された全数把握疾患＞

腸管出血性大腸菌感染症	21件	クロイツフェルト・ヤコブ病	2件
E型肝炎	3件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5件
A型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	3件
レジオネラ肺炎	5件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
アメーバ赤痢	5件	水痘(入院例に限る)	1件
ウイルス性肝炎	2件	梅毒	34件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6件	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1件

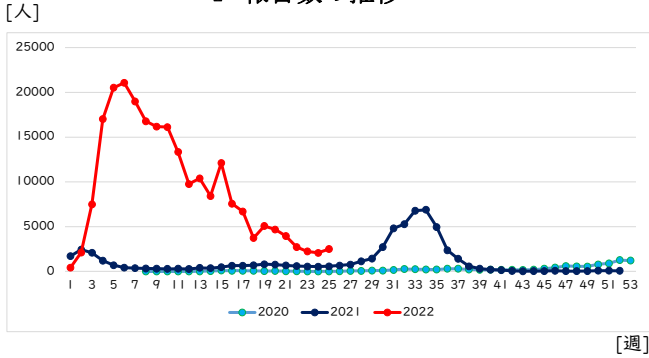
- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～70歳代で、O157が13件、O26が2件、O103が2件、O104が1件、O128が1件、O不明が2件報告されました。9件は経口感染、1件は接触感染と推定され、11件は感染経路等不明でした。
- 2 **E型肝炎**:40歳代～70歳代で、経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が2件ありました。
- 3 **A型肝炎**:70歳代で、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 4 **レジオネラ症**:70歳代～90歳代で、水系感染と推測される報告が1件、感染経路等不明の報告が4件ありました。
- 5 **アメーバ赤痢**:40歳代～70歳代で、性的接触と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が3件ありました。
- 6 **ウイルス性肝炎**: B型肝炎(30歳代と50歳代)の報告が2件ありました。性的接触、感染経路等不明がそれぞれ1件でした。
- 7 **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**:40歳代～90歳代で、感染経路等不明の報告が6件ありました。
- 8 **クロイツフェルト・ヤコブ病**:70歳代と80歳代で、孤発例の報告が2件ありました。
- 9 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:30歳代～80歳代で、A群が1件、B群が1件、G群が2件、血清群不明が1件報告されました。1件は創傷感染が推定され、4件は感染経路等不明でした。
- 10 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:30歳代で、無症状病原体保有者が2件、その他が1件報告されました。いずれも性的接触と推定されています。
- 11 **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満(ワクチン4回接種)の報告が2件ありました。
- 12 **水痘(入院例に限る)**: 80歳代(ワクチン接種歴不明)の報告が1件ありました。
- 13 **梅毒**:10歳代～70歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期10件、早期顕症梅毒Ⅱ期18件、無症状病原体保有者6件の報告がありました。性的接触による感染が30件(異性間24件、同性間4件、詳細不明2件)、感染経路等不明が4件でした。
- 14 **薬剤耐性アシネトバクター感染症**:40歳代男性の報告が1件ありました。

◇ 新型コロナウイルス感染症(報道発表ベース)

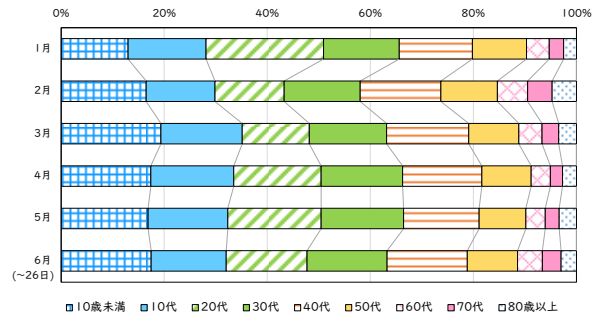
第21週～第25週に横浜市から報道発表がありました症例は13,491件でした。

- ◆横浜市 新型コロナウイルス感染症関連データ <https://data.city.yokohama.lg.jp/covid19/>

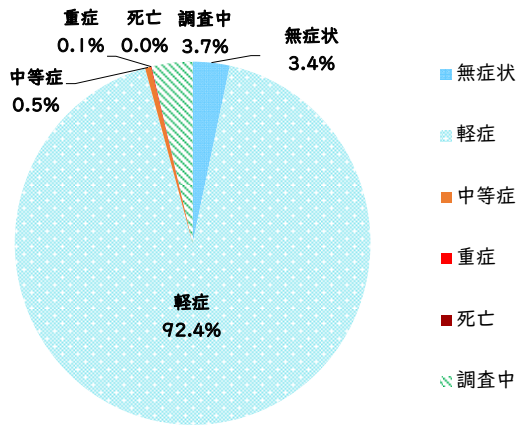
1 報告数の推移



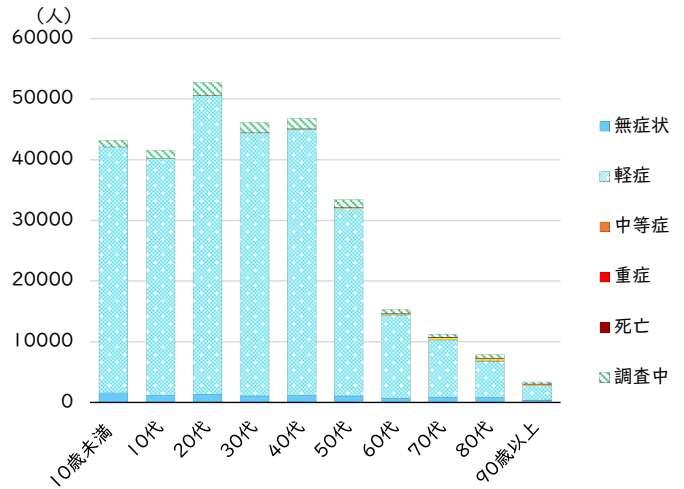
2 年齢層別患者割合



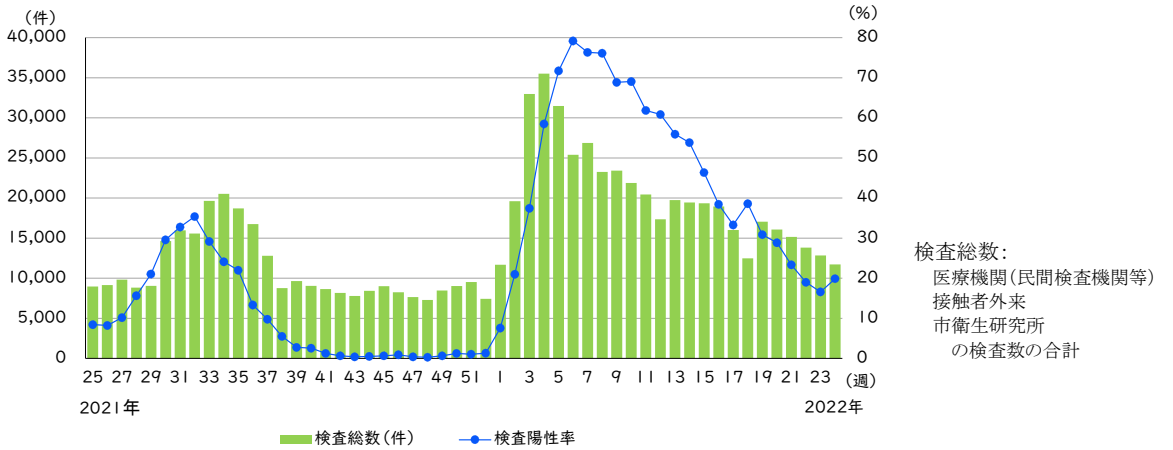
3 陽性確定時の症状の割合(2022年第25週まで)



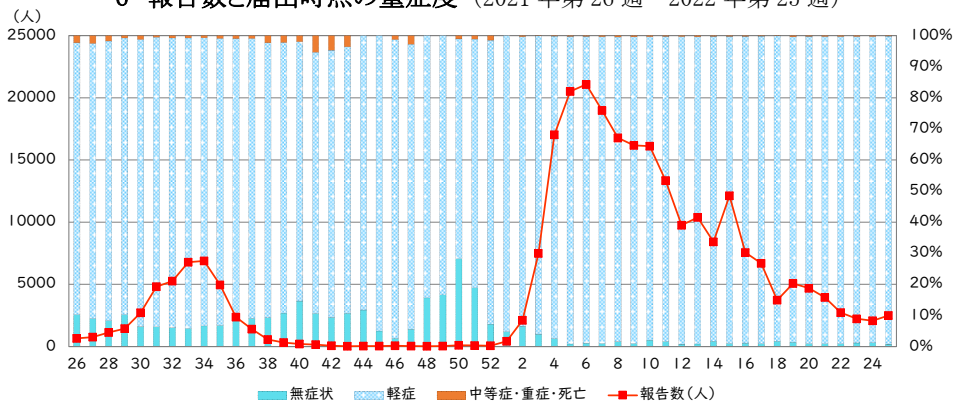
4 陽性確定時の症状別人数(年代別) (2022年第25週まで)



5 市内における新型コロナウイルス検査実施状況 (2021年第20週~2022年第19週)



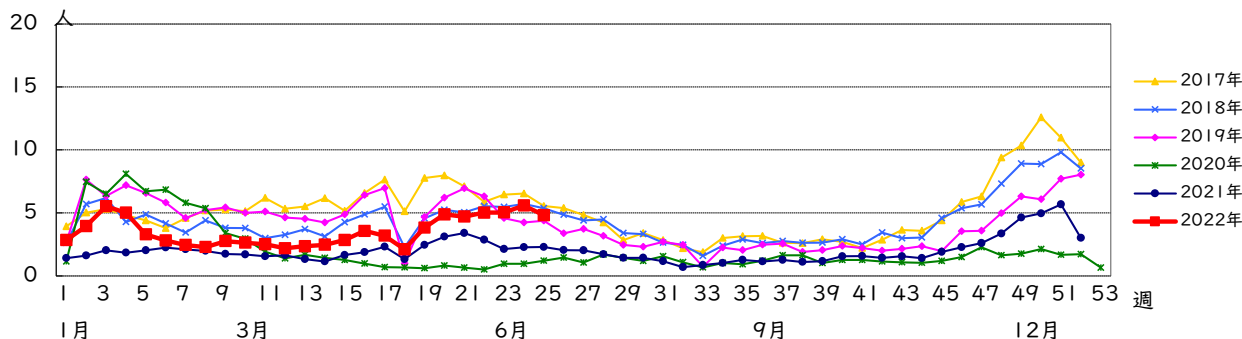
6 報告数と届出時点の重症度 (2021年第26週~2022年第25週)



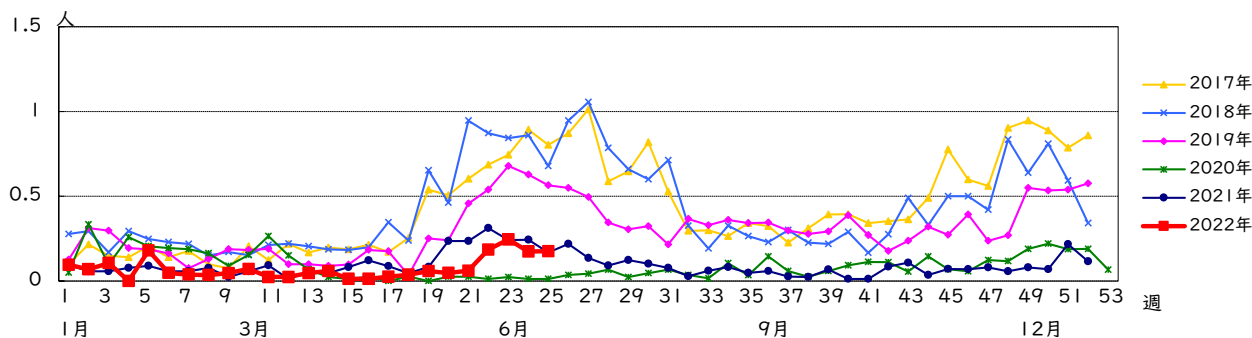
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第21週	5月23日～5月29日
第22週	5月30日～6月5日
第23週	6月6日～6月12日
第24週	6月13日～6月19日
第25週	6月20日～6月26日

1 感染性胃腸炎：昨年より高めで推移しています。第18週は2.10でしたが、その後増加に転じ、第23週は5.03、第24週は5.59、第25週は4.81となっています。



2 咽頭結膜熱：例年より低めで推移していますが、第22週は0.18、第23週は0.24と増加し、第24週は0.17、第25週は0.18となっています。



3 性感染症(5月)

性器クラミジア感染症	男性:47件	女性:17件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:9件	女性:6件
尖圭コンジローマ	男性:9件	女性:2件	淋菌感染症	男性:16件	女性:1件

4 基幹定点週報

	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(5月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	17件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

6月期(2022年第21週～第25週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点47件、内科定点1件、眼科定点2件、定点外医療機関からは5件でした。

アデノウイルス1型分離2株及びアデノウイルス2型分離1株、ヒトコロナウイルス遺伝子1件、エンテロウイルス遺伝子2件、ライノウイルス遺伝子2件、パラインフルエンザウイルス1型遺伝子1件、ヒトメタニューモウイルス遺伝子1件が検出されました。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果 (2022年第21週～第25週)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状 上気道炎	下気道炎
アデノウイルス 1型	2 -	
アデノウイルス 2型	1 -	
ヒトコロナウイルス*		- 1
ライノウイルス		- 2
エンテロウイルス	- 2	
パラインフルエンザウイルス 1型		- 1
ヒトメタニューモウイルス		- 1
合計	3 2	- 5

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

*ヒトコロナウイルス:HCoV OC43

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

6月期(2022年第21週～第25週)の「菌株同定」の検査依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、メチシリン感性黄色ブドウ球菌1件でした。非定点からの依頼は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌3件、サルモネラ属菌1件でした。保健所からの依頼は、腸管出血性大腸菌14件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌8件、薬剤耐性アシネトバクター1件、劇症型溶血性レンサ球菌6件、侵襲性肺炎球菌1件でした。

「分離同定」の検査依頼は、レジオネラ属菌3件でした。

「小児サーベイランス」の検査依頼は、小児科定点から咽頭炎が2件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査 (2022年第21週～第25週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
	基幹定点	劇症型溶血性レンサ球菌	1	A群溶血性レンサ球菌 (1)
	メチシリン感性黄色ブドウ球菌 (MSSA)	1	<i>Staphylococcus aureus</i> (1)	
	非定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (2)、 <i>Escherichia coli</i> (1)
		サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Typhimurium (1)
	保健所	腸管出血性大腸菌	14	O157 : H7 VT1 VT2 (5)、O157 : H7 VT2 (5)、 O128 : H2 VT1 VT2 (1)、O104 : Hg2 VT1 (1)、 O103 : Hg25 VT1 (1)、OUT : Hg16 VT1 VT2 (1)
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌		8	<i>Citrobacter freundii</i> complex (3)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (2)、 <i>Escherichia coli</i> (2)、 <i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)	
薬剤耐性アシネトバクター		1	<i>Acinetobacter baumannii</i> (1)	
劇症型溶血性レンサ球菌		6	B群溶血性レンサ球菌 (2)、 G群溶血性レンサ球菌 (4)	
侵襲性肺炎球菌		1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 22型 (1)	
分離同定		材料	項目	検体数
保健所	喀痰	レジオネラ属菌	3	培養 陰性 (3)
小児サーベイランス	材料	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	咽頭ぬぐい液	咽頭炎	2	A群溶血性レンサ球菌 T13 (1)、 溶血性レンサ球菌 不検出 (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】